

令和元年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	第7回 新潟県 SSH 生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA
期 日	令和元年7月25日（木）
会 場	アオーレ長岡
対 象	県内外のSSH・SGH各校，高校，中学校生徒
参加者	新潟南高校，新発田高校，長岡高校，柏崎高校，高田高校（県内SSH指定5校），富山県立富山中部高校（SSH指定校），国際情報高校（SGH指定校），新潟中央高校，三条高校，新潟大学教育学部附属長岡中学校，長岡市立旭岡中学校 以上，11校から881名の生徒が参加
目 的	県内外のSSH指定校や高等学校，さらに，近隣の中学校の生徒が一堂に会して，課題研究の発表や質疑応答による「研究発表交流」，及び参加生徒が協力して実技課題に取り組む「生徒交流会」を行い，SSH校の課題研究の改善につなげるとともに，参加各校生徒の相互交流により，協働的な課題解決力を育成する。また，会の運営や進行を長岡高校の生徒が行うことにより，本校生徒の主体性および協働性を育成する。
内 容	<p>■研究発表交流</p> <p>「口頭発表」・・・5校 新潟南高校，新発田高校，柏崎高校，高田高校，富山中部高校の各代表グループによるステージ発表を行う。</p> <p>「英語によるパネルディスカッション」・・・1校 長岡高校の代表グループが，ステージ上で英語による研究発表を行った後，その内容についてパネリスト（長岡高校代表生徒）とともに英語でディスカッションを行う。</p> <p>「ポスターセッション」・・・8校113点 参加した各校の研究グループが，ポスターで課題研究の成果を発表する。今年度は，長岡技術科学大学の留学生3名および大学院生1名に，英語によるポスター発表グループに対して指導助言を依頼し，行った。ポスター発表校は新潟南高校，新発田高校，長岡高校，柏崎高校，高田高校，富山中部高校および新潟中央高校，国際情報高校。</p> <p>■生徒交流会</p> <p>参加生徒全員を他校生徒と混合した5～6人のグループに分け，当日提示する実技課題に取り組みさせる。与えられた条件下で，初めて出会うメンバーとの話合い・意見交換・試行錯誤などの協働作業により，よりよい解を探るといった協働的な課題解決を経験させる。また，課題解決力やコミュニケーション能力の伸長も図る。</p> <p>今年度のテーマは「重さに耐えろ、ペーパーブリッジ！」でした。コピー用紙，セロハンテープでペーパーブリッジを作り，質量の異なるペットボトルを載せ，何グラムまで橋が壊れずに耐えられたか，その質量を競いました。</p>



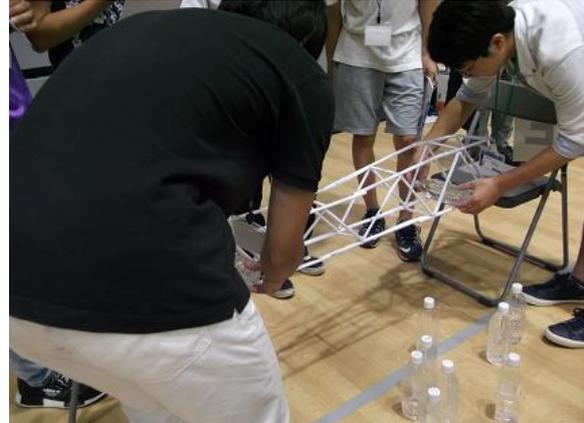
口頭発表



英語によるパネルディスカッション



ポスターセッション



生徒交流会

参加者の
主な
感想

<口頭発表>

- ・スライドに工夫があって分かりやすかった。また、縦軸と横軸が何を表しているかを説明してくれたので、結果や実験の内容を理解しやすかった。
- ・質問について答えた後に、さらに質問し、それに答えるという、学生同士の活発な意見交換があつてとても良かった。

<英語によるパネルディスカッション>

- ・パワポを使っていたため、英語で聞き取れなかった部分を図などで見られて、わかったからよかった。
- ・英語発表とディスカッションが印象的だった。進行が生徒で英語なのも面白かったし、一問一答で終わらないところがすごく、私も即興力をつけたいと思った。

<ポスターセッション>

- ・ステージ発表でいまひとつわからなかったことを聞きに行けたり、自分の興味のあるテーマについて考えを深めたりすることができ、とても充実した時間になったと思います。
- ・全部おもしろそうな内容の研究をされていてまわるのが楽しかった。分かりやすく質問にも丁寧に答えてくださって有意義な時間になった。

<生徒交流会>

- ・初対面の人とも楽しく橋をつくることができた。難しかったし、あまり多く乗らなかったけど、良いものは作れた！
- ・違う高校の人たちと協力しあいながら何かをするのは初めてでとても新鮮で楽しかったです。